

編集後記

サービスロボットの応用システムなど、複雑なシステムの研究開発を行う際、各要素技術の研究開発だけでなく、所望の目的を達成するために必要となる適切なハードウェア、ソフトウェア群を統合させるシステム統合（インテグレーション）技術が求められます。一方、システムを統合する際に、個々のシステムの評価はもちろんのこと、実際に機能させる環境で組み合わせられたシステムの性能評価が望まれます。ここで、システムの性能評価をどう行うか、という問題は、開発したシステムの信頼性、有用性につながるため、研究開発の推進だけでなく、成果を学会発表や論文にまとめるときの評価、価値にもつながる重要な話題であるといえます。

ここで、私が会誌出版委員を引き受けた折、部会の委員より、フィールドや災害対応ロボット・システムのための性能試験法に関するものがあり、複数の組織やグループでさまざまな取り組みがなされているという話を伺う

ことがありました。性能評価の話はユーザも巻き込んだ議論が必要であり、標準化の問題もありますので、こういったアクティビティを広く紹介できる機会があれば、ということで、本企画がスタートしました。

本特集号を企画するにあたって、ゲストエディタをお引き受けいただいた川端邦明先生、中坊嘉宏先生、そして、システムインテグレーション部門安心安全システム部会の皆様に深く感謝申し上げます。企画をまとめるにあたっては、会誌出版委員の皆様にはさまざまなご助言をいただきましたこと深く感謝申し上げます。また、執筆をご担当いただきました皆様には、企画段階からご協力いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。ご多忙の中、原稿を査読いただきました皆様、きめ細かな配慮をいただきました学会事務局に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

(梅谷 智弘 記)

◇第 62 巻第 6 号 (2023 年 6 月号) 予定目次◇

一般記事

リレー記事 「FACE the future」《第 53 回》レーザー光を使った海中化学モニタリング技術の開発

高橋朋子 (JAMSTEC)

特集 SICE な博士 ～ティップス・心得・キャリアパス～

総論 SICE の学生に「SICE な博士」のメッセージ

石崎孝幸 (東工大)

解説 博士育て

藤田政之 (東京大)

解説 社会人博士へのチャレンジ

飯野 稔 (早稲田大)

解説 Make Sure Your Pencil Is Sharp

田中崇資 (テキサス大学オースティン校)

解説 やりたいことをやるための 3 つの不安解消法

岸田昌子 (国立情報学研究所)

解説 サラリーマンが博士号を取る意義はあるか？

—研究開発と社会人博士の経験から—

河野洋平 (日立製作所)

解説 制御理論専攻の学生生活と建設会社への入社

木村駿介 (清水建設)

解説 回り道のすゝめ

—会社を辞めて博士を取得した経験から—

川口貴弘 (群馬大)

一般記事

新人研究者によるサーベイ報告 次世代時間標準のための新しい高安定発振器

西山明子 (産総研)

新人研究者によるサーベイ報告 次世代デバイス開発に向けた高周波計測技術の高周波化と高精度化の動向

荒川智紀 (産総研)

特別企画 〈2022 年度学術奨励賞受賞論文紹介記事〉

筋電図バイオフィードバックによる歩行安定化

木伏紅緒 (神戸大)

特別企画 〈2022 年度学術奨励賞受賞論文紹介記事〉

ソフトグリッパのための多孔体を用いたトモグラフィ式

触覚センサの設計と特性評価

船戸舜生 (東京大)

特別企画 〈2022 年度学術奨励賞受賞論文紹介記事〉

BMI における転移学習を用いた CNN の性能向上

高橋亮太 (法政大)

(第 62 巻第 5 号)

特集号ゲストエディタ：川端邦明 (日本原子力研究開発機構)、中坊嘉宏 (産業技術総合研究所)

特集号編集 WG：板井志郎 (広島工業大学)、高橋三郎 (パナソニック アドバンステクノロジー)、横田 論 (福岡工業大学)、矢代大祐 (三重大学)、吉留忠史 (神奈川工科大学)、梅谷智弘 (甲南大学：幹事)

2023 年度 会誌出版委員会 (五十音順)

委員長：永原 正章

副委員長：山下 智輝

相沢 宏明

飴谷 充隆

板井 志郎

伊藤 直史

伊藤 博通

井上 正樹

大谷 雅之

大塚 章正

金子 修

川喜田佑介

川瀬 利弘

小木曾公尚

小林 洋

豊田 充

西尾 唯

西野 敦洋

信川 創

林部 充宏

藤原 正浩

堀川徳二郎

矢代 大祐

保田 俊行

山田 広明

吉留 忠史

吉野 公三